

自治会加入促進に行政の手助けを

答 具体的な支援策を検討したい



大城 重太 議員



問 本町全体の自治会加入率は38・74%だが、現在に至るまでの推移を見てどういう状況だと認識しているか。

総務課長 本町では年々人口は増えているが、自治会加入率は年々減少している。本町に入ってから入れた町民の皆さんが自治会に加入していないことも一因として考えている。



自治会加入パンフレット

問 自治会会員の高齢化が懸念される。防災や防犯、持続可能な自治会運営においても若い世代の加入が望まれるが、加入促進の具体的な施策はあるか。

副町長 特に若い世代を対象とした自治会加入促進の具体的な施策は今のところないが、引き続き区長会と連携して取り組んでいく。

問 各自治会に合った加入促進のチラシ作成や、若い世代のニーズに合ったホームページやSNSでの情報発信のために、行政側から手助けできることはないか。

総務課長 自治会のデジタル化の推進や加入促進のためのパンフレット作成など、地域活性化の観点から重要な取り組みだと考えている。財政状況を踏まえ、ほかの自治体の状況や補助制度も参考にして具体的な支援策を検討していきたい。

ガードパイプの修繕を

問 町道11号の太子橋から住宅街を通る町道47号のガードパイプの腐食が激しく安全性を保てていない。早急に対応できないか。

副町長 令和7年度で対応する。



車道に倒れたガードパイプ

問 道路照明灯やカーブミラー、ガードレールなど、町内には修繕が必要な道路構造物は何件あるか把握できているか。道路維持管理プログラムの検討、策定はもうなっているか。

副町長 修繕が必要な詳細な件数は把握できていない。道路維持管理プログラムは、今後南風原町総合交通戦略に基づき令和9年度までに調査研究、10年度の策定を予定している。

一こんな質問もしました
• 学校給食に楽しみを